

妊娠早期の hCG 値は、その後の妊娠および周産期予後に影響を及ぼすか

徐 東舜、伊藤 真理、峰 千尋、越智 雪乃、清須 知栄子

【目的】妊娠早期の hCG 値が妊娠予後に関与することは知られているが、どの程度の値で予後が良好不良かは明確でない。一方で、hCG 値と周産期予後の関与は不明である。そこで今回我々は、2014 年 12 月から 2022 年 1 月に当院で胚移植を行い hCG 値陽性であった 1263 例に関して、hCG 値別での妊娠及び周産期の予後について検討した。【方法】当院での胚盤胞期胚移植後 10 日目（妊娠 4 週 1 日）に、血中 hCG 値（IU/ml で以降省略）を測定した。測定機器は AIA（東ソー株式会社）を用いた。hCG 値の 0～149 までは 25 間隔、150～299 までは 50 間隔、300～499 までは 100 間隔、そして 500 以上に分類し、それぞれの生児出生率、流産率、生化学妊娠率を算出した。さらに、出生児の体重、早産率、帝王切開率も検討した。また、サブグループとして 40 歳未満と 40 歳以上での分析も行った。

【結果】hCG 値 50 未満では 90.8% が生化学妊娠であり、50-99 では生児出生率 24.1%、流産率 38.8%、100-199 では生児出生率 60.8%、流産率 33.1%、200 以上では生児出生率 82.3%、流産率 17.5% であった。周産期の分析では、hCG 値多寡に関わらず、出生児の体重、早産率、帝王切開率に差は認めなかった。40 歳未満と 40 歳以上の生児出生率を比較すると、hCG 値 50-99 では 29.8% vs 9.4%、100-199 では 65.3% vs 42.9% と、有意に 40 歳未満が高くなったが、hCG 値 200 以上では 83.1% vs 77.9% と、両群に差を認めなかった。【結語】妊娠 4 週 1 日の hCG 値が 50 未満であれば生化学妊娠、100 以上であれば生児出生となる可能性が高い。また、40 歳以上では、hCG 値が 200 を超えれば 40 歳未満と同等の出生率が期待できるが、200 未満の場合、生児出生率は低下する。一方、妊娠早期の hCG 値は周産期の予後に関与しないと考える。